

第2回運営推進会議資料（GH鶴亀）

R6.7.17（水）

1. 利用者人数

男性 0人 女性 9名 合計 9名（満床）

2. 活動状況（R6年6～7月）

月 日	実施内容等	備考
6/14	・オンライン研修【身体拘束・虐待について】	
6/17	・レクレーション【AM】	
	・鶴亀消防訓練（夜間想定）【PM】	
6/24	・スタッフ会議	
7/12	・誕生会	
7/17	・第2回運営推進会議（13：30～）	本会議
7/19	・ミーティング	

3. 各種委員会の開催

5月24日（金）事故防止委員会

○事故・ヒヤリハット件数報告

・4月～5月 事故報告 →0件
ヒヤリハット →4件

○けが、骨折時の処置対処方法について

○目標→**座り込みが多かった**ので、**無くなる様に声掛けをする。**

○結果

・5/24～6/24 事故報告 →2件
ヒヤリハット →2件

6月24日（月）身体拘束委員会

○具体的な身体拘束例説明

○身体拘束による3つの弊害

○目標→**スピーチロックをしない様、スタッフ間で注意しあう。**

4. 勉強会の開催

6月24日（月）

○けいれん発作時対処方法について

5. R6年5月22日～7月13日までの事故報告等

○事故報告 →4件

○ヒヤリハット →6件

～事故報告～

①5月31日（87才）：5時40分頃

（発生状況）

→居室でスリッパを履こうとして転倒。

（発生からの経過・対応状況）

→手を握って立ってもらう。その際、足の痛みなどの訴えなし。

スムーズに立つことが出来る。ベッドに座ってもらい痛い場所がないか尋ねると「左頬が痛い」と言われる。

左頬は少し腫れており、擦り傷もある。

トイレに行くと言われるので、一緒にトイレに行くが、歩行は安定しており、足の痛みは訴えない。

トイレ後は、居室へ誘導し休んでいるよう声掛けをする。

朝食の声掛けをして、一緒へ食堂へ行く。

朝食時は、痛みなどの訴えはなく完食している。

(今後の対応策)

→靴の検討、脚力強化、見守り頻回、就寝時は靴下を脱いでもらう。

② 6月3日(94才) : 14時40分頃

(発生状況)

→居室の前を通ると床に座り込んでいた。「どうしたの?」と聞くと滑ったとのこと。

(発生からの経過・対応状況)

→他のスタッフを呼び、ベッドに座らせる。

打った箇所を聞くと、左側の頭・おしり・左足が痛いとのこと。

しばらくして痛みが続いているか尋ねると、痛くなくなったとのこと。

(今後の対応策)

→ベッドや車いすなど座る時は、深く座ってもらう様伝えた。

③ 7月1日(94才) : 17時50分頃

(発生状況)

→「ドスン」と音がして訪室。洗面台からベッドへ移動する際に転倒。

(発生からの経過・対応状況)

→打ち所確認後、2人で抱え起こす。ベッドにつかまり1人で立てる。

車椅子に座らせて、ベッドに移動してもらう。立ち上がり、移動は自分で出来る。右手甲を内出血のためイドメシゲル塗付。

後頭部右側たんこぶについては、クーリング施行。バイタルチェック。

数十分後、声掛けをすると「どうもないよ。心配かけてすみません」と言う。急変したり、吐き気あったりしたら教える様に声掛け。

ベルを手元に置く。翌朝、右手の痛みは二の腕から肘にかけてが痛く、頭は触ると痛いという。朝食時は、食堂に自力駆動で来る。

箸もいつものように扱い、痛がる様子はなし。

(今後の対応策)

→車椅子での移動を徹底させる。

④ 7月10日(94才) : 12時30分頃

(発生状況)

→自室より「ドスン」と音がするため行くと、四つん這いになっていた。

布団のしわを綺麗に伸ばそうとして立ち上がったところ、バランスを崩して座り込んだとのこと。

(発生からの経過・対応状況)

→四つん這いになっている所を、スタッフ2名で介助し、立ってもらい

ベッドに腰掛ける。右ふとももを打ったものの、打ち身などは

見られない。ベッドで休んでもらうように声掛けする。

その後は、トイレにも行っている様子だった。

(今後の対応策)

→車椅子での移動するように何度も声掛けをする。

その都度説明する。

～ヒヤリハット報告～

- ① 6月6日(94才) : 17時30分頃
(発生状況)
→車椅子に乗らず、室内を歩いていた。
(予想される事故)
→転倒
(今後の対応策)
→「いつもこんな風に歩いていて、転んでますよね」とその都度説明
- ② 6月6日(93才) : 17時40分頃
(発生状況)
→廊下に歩いて行き、車椅子を引っ張っていた。
(予想される事故)
→転倒
(今後の対応策)
→巡回強化
- ③ 6月16日(94才) : 12時20分頃
(発生状況)
→他者の薬を渡し、口に入れた直後に気づき吐き出してもらう。
(予想される事故)
→誤飲
(今後の対応策)
→薬を渡すときは、1つ1つ確認してから渡す。
- ④ 6月27日(67才) : 19時40分頃
(発生状況)
→ベッドから足が出ていた。
(予想される事故)
→ベッドからの転落・骨折
(今後の対応策)
→横にする時は、壁側に近づける
- ⑤ 6月29日(96才) : 15時10分頃
(発生状況)
→車椅子から立ち上がり、隣の人椅子につかまり歩こうとしていた。
(予想される事故)
→転倒
(今後の対応策)
→移動時は車イスを使用するよう声掛け
フットレストを上げるよう声掛け
- ⑥ 7月6日(94才) : 18時5分頃
(発生状況)
→靴を履かず、歩いて押し入れに行き押し入れの衣装ケースを見ていた。
(予想される事故)
→転倒
(今後の対応策)
→車椅子で移動するよう声掛け、その都度説明。